

＜白金標準、NY マーカンタイル取引所の指定倉庫が 8.5 トンまで半減＞



(出所：オアシス)

トランプ大統領は銅に対して 50%の関税を課すと発表し、貴金属に関税が課せられなかったことから、ロンドン市場のプラチナリースレートは一時 23%まで上昇していたが、11%まで低下するも銅に対する関税発表を受け 16%まで上昇している。

また7日から10日まで上海で開催された上海プラチナウィークでは、世界プラチナ投資協議会 (WPIC) の CEO が「南アフリカの PGMs と中国のグリーン革命が融合する時、それは単なる資源と技術の融合を超えた運命の転換点です」と発言し、プラチナ・ギルド・インターナショナル (PGI) は主要な国際市場においてプラチナ製品の製造、小売販売、戦略的パートナーのパフォーマンスが堅調な成長を示していると強調しており、中国、日本、インド、UAE、米国の宝飾需要を挙げている。また NY マーカンタイル取引所のプラチナ指定倉庫の在庫量が4月の相互関税発表時の 19.6 トンから10日の時点で 8.5 トンまで減少している。そのため供給不足を補う事が難しくなり、価値の見直しが進む動きを続けている。ただ白金標準先物は、高値 6319 円から高値が抑えられ、6000 円を試しているが、下げ渋る値動きに再度 6200 円を試す値動きに注目が集まると思われる。

＜テクニカル＞

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げながら、**シグナル** も下げている。また RCI では**短期**が下ながら、**長期**も切り下げだしている。特に日足が **10 日移動平均線** で支えられ 6000 円が維持できるかに注目が集まると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,675,000 円(2025 年 7 月 14 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 79,200 円(2025 年 7 月 14 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>